

お問い合わせ
inquiry

停電時や地震発生時にシャッターを安全に操作していただくために

停電時をはじめ、地震などに伴う建物への影響が考慮される場合に弊社のシャッターを操作される際は、安全確保のために以下の点に十分ご注意ください。

・停電時は手動で操作できますが、手動での操作方法は製品によって異なりますので、お手元にございます取扱説明書をご確認の上、安全に注意して操作をお願いいたします。なお、一部の製品は手動で操作できない場合がありますのでご注意ください。

・お手元に取扱説明書がない場合は、弊社グループ会社の文化シャッターサービス(株)までお問い合わせください。

・シャッターの開閉操作を行う際、シャッターに変形がないこと、シャッターの降下付近に人がいないこと、シャッターの下に物が置かれていないことを必ず確認した上で操作を行ってください。

シャッターの作動中は、絶対に降下付近に立ち入ったり、顔や手を出さないでください。予期しない作動をする場合があります。

・電動タイプを操作する際、今までと違った振動や異音などを感じましたら、直ちに「停止」ボタンを押してシャッターの作動を停止させ、修理・点検に対応する文化シャッターサービス(株)までご連絡ください。

文化シャッターサービス(株)
フリーダイヤル 0120-365-113
最寄りのサービスステーションに自動でつながります。

モーターロック機能について



注意

シャッターの全閉状態から手動で無理に開けようとすると、シャッターが閉動作をします。手などははさまないようにご注意ください。

注記

- モーターロック機能が作動している時に、無理に手でシャッターを動かさないでください。故障の原因になることがあります。
- 停電やブレーカーを落とした場合など、シャッターに通電していない時はモーターロック機能が作動しませんので、通電の有無にかかわらず、座板錠が施錠されていることを確認してください。

- モーターロック機能は、シャッター不正開放を防ぐための、開閉機を用いた補助錠機能です。あくまで補助的な機能なので、施錠については、座板錠による施錠をご確認ください。
- モーターロック機能は、安全確保のため、全閉した後、5秒以上経ってから作動します。
- シャッターを手動で閉めた場合は、モーターロック機能が作動していることを確認してください。
- モーターロック機能が作動していることの確認は、座板錠を解錠した上で、座板を持って、スラット1枚分程度持ち上げてください。この時、シャッターが閉まろうとすれば作動しています。スラット1枚分より多く開けようとすると故障の原因となりますのでご注意ください。
- モーターロック機能が作動しているときは、手動操作できません。手動操作する時は、「開」スイッチを押して30cm程度開け、モーターロック機能を止めてから行ってください。

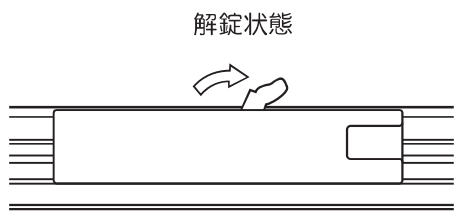
電動式停電時の操作方法

注 記

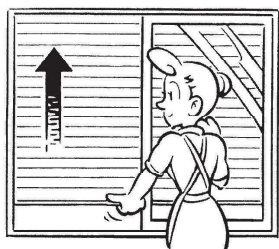
- 停電時または非常時以外は手動で開閉しないでください。
- 急に開けるとシャッターが動かなくなる場合がありますが故障ではありません。その場合はいったん下までゆっくり降ろして再度ゆっくりと上げてください。

開けるとき

- 1 座板錠の操作レバーを下げると解錠します。



- 2 座板の中央付近をもってゆっくりと一定の早さで持ち上げてください。



※電動式窓シャッターの手動操作は、モーターと一緒に回します。ゆっくりと一定の早さで操作しないと、開閉操作が重くなります。

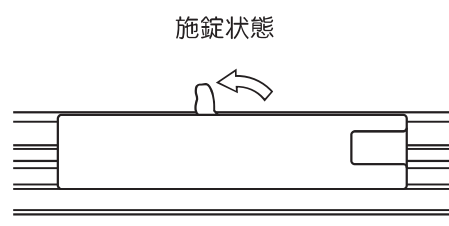
閉めるとき

- 1 座板の中央付近をもってゆっくりと一定の早さで降ろしてください。



※一定の早さ以上で操作すると、モーターが一時的にロックされます。この場合はシャッターから一旦手を放し再度ゆっくりと下げてください。

- 2 錠をかけます。



- 錠の操作方法、シャッターを手で操作するときの重さなどをご理解いただくために、必ず、「停電時の操作方法」を行ってください。
- 電動シャッターを手動にて開閉するときの操作力はサイズによって異なりますが、10～20kg程度になります。
電動シャッターを手動にて開閉する場合、モーターの回転を伴いますので、一定の速さでゆっくりと操作してください。一定の速さでゆっくりと操作しない場合、操作力が重くなるなど、操作の支障となります。